



「栄養満点！胃袋も心もほっこり」をテーマに、このほど、羽ばたけ鮎河自治振興会主催の「男の料理教室」が男女共同参画事業の一環として東野集落センターで開催されました。近年の生活スタイルの変化により料理をする男性も増えてきており、老人クラブの協力を得て、17名の男性が参加されました。

メニューは、鍋焼きうどん、鮭のムニエルなどで、参加者の熱意という火力もあり、あっと言う間に出来上がりしました。

出来上がった料理をみんなで歓談しながら食べ、「今日から家で一品自分でできるわ」との発言も出て、終始和やかな中、終了しました。

今日から家庭のシェフ「男の料理教室」 鮎河地域市民センター



油日自治振興会では、半年ほどかけて「油日歴史ふれあい散策マップ」の作成に取り組み、このほど完成しました。

これは、「油日地域の史跡などをもう一度見直しながら自分たちの地域を深く知り、また健康のためのウォーキングなどをより楽しく取り組んでいただくために」と、地域振興部員により発案・作成されたものです。

3月4日にはこのマップを使い、ふれあいウォーキングも開催されました。

これから春に向かって日ごとに暖かくなっていきます。このマップをどんどん活用し健康増進を図っていきます。

「油日歴史ふれあい散策マップ」完成 油日地域市民センター



この春卒業した甲南第三小学校の6年生の子どもたちが地域内を歩き回り、散策コースとそこで見られる鳥を紹介した、鳥散策歩きマップが完成しました。

小学校を拠点にスタートして、4つのコースにそれぞれ歩いて何歩、約何分かかるかを計測し、見どころも紹介。裏面には地域で観察できる主な野鳥の写真と絵が並んでいます。

宮地区の観光スポットも一緒に掲載しており、「鳥」をキーワードに自然環境の大切さを地域の内外に情報発信していくことが、学区内の主な施設にも置いてもらう予定です。

鳥散策歩きマップが完成 甲南第三地域市民センター



上朝宮地先の岩谷観音(仙禅寺)で「おこない」という行事が執り行われました。この行事は、その年の豊作を願って行われるもので、毎年3月1日に開かれます。

観音様には、黒文字の木にお餅を巻き付けたものなどがお供えされ、地元の住職による読経で、五穀豊穡を祈願します。

木に巻き付けたお餅は「おこない」のあと、それぞれ地域に持ち帰られ、枝ごと分けて、各家庭に配られます。

このお餅を保存して、腹痛の時に食べるとよいという言い伝えもあるそうです。

農作物だけでなく、心も豊かな年になるといいですね。

豊作を願う行事「おこない」 朝宮地域市民センター

自治振興会は、市の提案 23 地区全てで設立されています。

—互いに支えあい、絆のある地域づくり—

信楽学区自治振興会長野分会

市内にある 199 の区・自治会の中で、最も大きい自治組織が信楽地域の長野区です。

長野区では、他の 4 つの区と共に、信楽小学校の区域による自治振興会設立に向けた協議が重ねられてきました。しかし、同区は、約 1,300 世帯余、人口も約 3,800 人の自治組織であり、現状で 5 つの区が結集しての事業展開は難しいことから、当面は、信楽小学校区の自治振興会は、長野分会と神山・江田分会、田代・畑分会の 3 つの分会でスタートされることとなりました。

人口が多くても着実に進む少子高齢化の社会情勢に変わりは無く、一つの区による自治振興会であっても、新しい仕組みによるまちづくりに、地域の皆さんからの期待は大きいようです。



信楽学区自治振興会長野分会 黄瀬 和喜会長に聞きました

—自治振興会設立に至った経過や
ご苦労されたことをお聞かせください

長野区は、地場産業が盛んで信楽地域の経済・産業の要の地域です。このような比較的活力のある当区においても、人口の減少、少子高齢化が着実に進行しています。そうした社会構造の変化により、地域活動の担い手として大きな役割を果たしてきた区の組織も見直しが必要な時期に来ていました。

そのような中、従来の町内会等を核とした自治組織に加え、高齢者介護、子育て支援といった新たな地域活動にも取り組んでいく組織として自治振興会を設立していくことを決めました。

設立に向けては、昨年 8 月 2 日に設立準備委員会を立ち上げ、行政の協力を得ながら、4 回の会議を持ち、規約や予算案などを作成、11 月 24 日に設立総会を開催し、長野分会をスタートさせました。

当初は、設立に向けてご尽力いただいた杉本区長が初代会長に就任いただく予定で進めていきましたが、誠に残念ながら急逝され、総会において、はからずも私が会長という大役にご選任いただき、身の引き締まる思いをしております。



—すでに事業も実施されているということですが

事業は 5 つの部会で行い、文化児童部会では、小学生を対象にした「しらがき再発見体験」事業を実施、学区内にある京都大学 MU レーダーの見学などを行いました。子供たちにとっては、普段入ることのない施設を見ることができ喜んでくれています。

環境防災部会では、防犯灯の LED 化推進や、不法投棄パトロール、防災かまどベンチの設置、健康福祉部会事業として、高齢者を対象にした「長野お元氣広場」、広報啓発部会では本年 2 月に広報紙を発行しました。

24 年度以降は、地域啓発部会による区民アンケートの実施など新規事業にも取り組んでいきます。

—信楽学区自治振興会長野分会の PR をどうぞ

当分会は設立して日が浅いことから、区民の皆さんに自治振興会の存在を知ってもらう取り組みを進めていきます。当面は、区事業を継承しながら進めていきますが、新しい事業にも取り組み、一歩一歩着実に計画を立てて進めていき「お互いが支えあい、絆のある地域づくり」をめざしてまいります。皆様のご支援・ご協力をお願いします。

問い合わせ 地域コミュニティ推進室
☎65-0687 ☒63-4554

「自治振興会によるまちづくり」
フォーラム開催

「自治振興会によるまちづくり」のフォーラムが 3 月 11 日、碧水ホールで開催。それぞれの自治振興会役員や市民の皆さんら約 240 名が参加しました。

基調講演では、四日市大学岩崎恭典教授が、全国的に少子高齢化が進み、人口が減少するなか、人と人との絆が重要視されている中で、甲賀市の自治振興会は、人と人とのつながりで地域を守るとい「共助」への取り組みに向けて大きな一歩であると評価されました。また、今後、地域では、自治振興交付金という財源を活かすために「地域まちづくり計画」をしっかりと策定し、地域自らによるまちづくりを着実に進めていくことが重要であると話されました。

講演の後、6 つの自治振興会から取り組み状況の報告があり、多くの皆さんから、自治振興会の趣旨を再確認し、情報を共有できる機会になったという感想が寄せられました。

なお、当日は東日本大震災から一年という日であり、震災発生時の午後 2 時 46 分に合わせ参加者皆さんで黙祷を捧げました。



地域コミュニティ推進室
☎65-0687